

一万歩コースがつながる

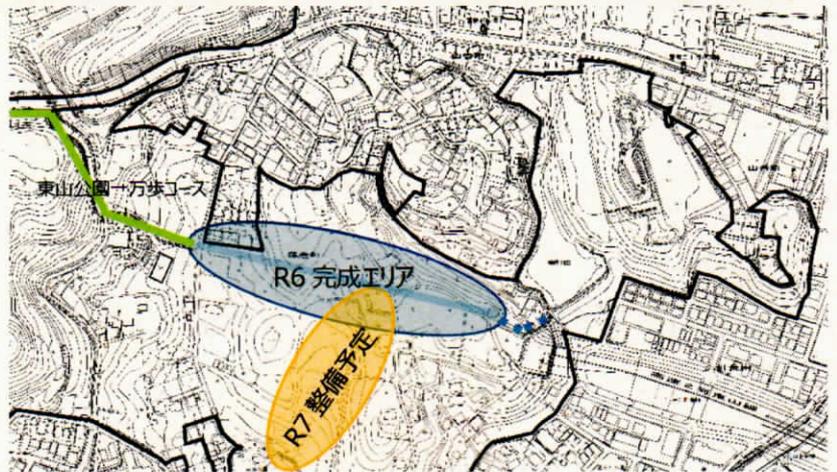
東山公園の公園予定区域において、藤巻町と山香町をまたがる森の散策と広場整備がついに完成しました。令和4年から2年間の地元ワークショップを経て生まれた森で「藤巻・山香の森」といいます。

これまでフェンスで閉ざされていたエリアですが、今回の整備工事によって、一万歩コースにつながるようになりました。

この森には竹林エリアもありますが、様々な樹木が生育しています。

中でも、ユーカリの木がこの森のシンボルとなっています。ぜひ、探しに来てみてください！

令和7年にはさらに散策を延ばす予定です。さらに散策が楽しくなります。



木の名前



3月に森づくり体験会のイベントとして、「森であそぼう」～木や竹を使った工作～を開催しました。

作成したものは、樹名板です。森を訪れた方にいろいろな木の名前を覚えてほしいという思いがあります。

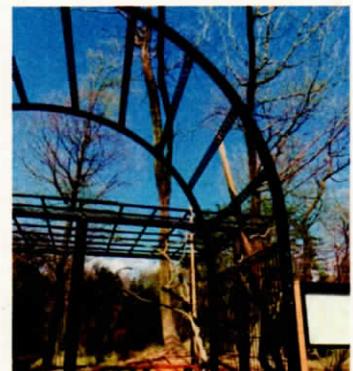
今回取り付けした木は6種類ですが、この森にはたくさんの種類の木があります。たくさん覚えてくださいね。

竹林エリア



森の中には竹林エリアもあります。自治会を中心とした森づくり活動の団体が手入れをしてくれています。竹はすぐ伸び広がってしまうので、管理は大変です。自治会でタケノコ除去のための春まつりも毎年開催しています。竹の拡大を防ぎ、景観を保つためには必要な作業です。

新しい藤棚



もともとこの場所「藤巻の藤棚広場」には手作りの藤棚が置いてありましたが、劣化もあったため、今回の工事で新しい藤棚を設置しました。フジはそのまま使っています。さらにフジのアーチを作るトリスも設置しました。フジが生長した姿が楽しみです。